

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション



みんなとともに



「臨時休校」2日目となりました。子どもたちはどんな様子でしょうか。さて、休校前日の「特別な会」の様子について今回はお伝えします。実はこの内容を伝えるかどうか悩みました。おそらく様々なご意見があると思ったからです。でも、「清明小学校の保護者の方は分かってくさるはず」という確信のもとに載せました。この会に出て（隠しましたか）目がウルウルとしてしまいました。



「六年生を送る会・令和元年度終わりの会」を開催しました

3月3日（火）は、臨時休校前の最後の登校日でした。この日に、今年度の「けじめ」として、「六年生を送る会」「創立百周年記念式典」「修了式」を融合した会を開きました。

これまで企画や準備に奔走してきた六年生を送る会実行委員会の子どもたち、また各縦割り班のまとめ役としてプレゼントづくり等にごがんばってきた5年生も、その努力が報われたことと思います。

卒業生（6年生）と在校生（1～5年生）の心が一つになった、とてもステキな会になりました。

【次第】

子どもたちの様子【思い出の一コマ】

「六年生を送る会・令和元年度終わりの会」

- | | | | |
|---|------------------------|----|-------|
| 1 | はじめの言葉 | 5年 | 安田旺介 |
| 2 | 感謝の言葉と6年生へのプレゼント | 5年 | 山本佳穂 |
| 3 | 鼓笛移杖 | 6年 | 高橋愛夏 |
| | | 5年 | 村上彩華 |
| 4 | 6年生お礼の言葉と発表 | 6年 | 塚田希紘 |
| 5 | 創立百周年のお祝い
「児童代表の言葉」 | 6年 | 伊藤向日葵 |
| | 「記念DVD鑑賞」 | | |
| 6 | 校長の話 | | |
| 7 | 終わりの言葉 | 4年 | 松本ななせ |



【校長の話】

今年度の「登校日」の残りは「13日」。本来ならばこの「13日」でさらに「みなさんの心が一つ」になって、卒業・修了を迎えるところでしたが、それは叶わないこととなりました。（中略）

さて、実は、今から9年前の3月、福島市では、「今と同じような状況」がありました。それは、東日本大震災がおき、原子力発電所の事故で放射性物質が地面に降り注いだからです。子どもたちは外で遊ぶことができなくなり、外に出るときはいつもマスクをつけていました。学校は今回と同じように「休み」になり、卒業式はできませんでした。何から何まで「初めての出来事」でした。でも、「どうしたら解決できるか」をみんなが一生懸命に考えて、一つ一つ乗り越えて、今の生活まで「復興」してきました。

ですから、今回の状況も、「きっと乗り越えることができるはず」です。みなさんも不安な気持ちが大きいと思いますが、常に気持ちを「前向き」にもって、新しい学年にむけて「今」を大切にして生活をしていきましょう。（後略）

